

平成 29 年度 第 2 回菊池地域認知症サポート医連絡会議 会議録

日 時：平成 30 年 2 月 27 日（火）午後 7 時 00 分～8 時 30 分

場 所：菊南温泉ユウベルホテル

出席者：認知症サポート医 9 名

地域連携室 1 名

地域包括支援センター 4 名

介護事業所 3 名

事務局 3 名

計 20 名

議事：

1. 開会挨拶
2. 議題① 熊本県認知症サポート医アンケート調査結果報告・・・松岡さんより説明
3. 意見交換
  - 熊本県認知症サポート医アンケート調査結果報告を受けて
  - 認知症の症状（BPSD）への対応等で困っていること
  - 認知症サポート医へ期待すること

● 意見交換より

【認知症サポート医】

- ✓ 認知症の症状（BPSD）の対応というのは、やはり一般病院だと難しいのだらうと思います。ただ、身体症状がある方への対応については、ある程度まではできるのではないかと考えます。
- ✓ 一番ご家族が困っているのは BPSD への対応ですが、そういった症状に対して入院・入所施設のないクリニックだけでは対応しきれないのが現状です。
- ✓ 認知症があるということ自体で入院を尻込みされる、というのが、認知症を有する患者さんの現状であると感じ、衝撃を受けました。
- ✓ 精神科で身体合併症が出た時に、一般病院でも BPSD が残っているので対応できないという話がありました。また、BPSD が改善していても、以前の情報で受け取ってもらえないというケースもあります。
- ✓ 一般病院なんですが、職員の認知症への対応に統一性がなく、結果症状を増悪させてしまうということもありました。病院として、“BPSD=困っている”という状況かと思います。
- ✓ 精神科では、施設や設備によって早急な検査ができなかったりすることもあります。あくまで連携を図ることのできる内科医等が入ってアドバイスすることで、転院としないようにすることもできるのではないかと感じました。

## 【地域包括支援センター】

- ✓ 先生方の協力可能と思われるものの中で、包括支援センターとの連携を高く考えて頂いているのはありがたく思います。逆に相談対応については、包括支援センターが一番低くなっているのが、少し残念に感じました。専門的な知識について、包括支援センターや介護従事者は分からないことも多いため、今後とも先生方と連携を図りながら、ご指導等頂きたいと思っております。
- ✓ 在宅医療介護連携を考える際に、認知症の方への対応をどうするのかという課題があります。かかりつけ医の先生方に、認知症サポート医を広めることができないかとも考えています。
- ✓ 認知症（BPSD）の方で、インフルエンザ・肺炎となられた方について、中々受け入れ先が決まらなくて困ったという話を聞きました。身体合併症をお持ちの方について、どうにかスムーズにできないかと考えています。
  - 慢性化する前に対処すべき時には、熊本医療センターも選択肢の一つになると思います。（認知症サポート医より）

## 【介護事業所】

- ✓ 認知症の方を介護しているご家族について、介護負担が大きくなっていないか、共倒れされないかと心配することがあります。施設職員としても、病院受診の際にはご家族に同行し、第三者としてお話ができればと思っています。
  - 万が一のことを考えて、入院できる病院や相談のルートは把握しておいた方がいいかと思います。何もない時からそういった連携を心掛けておくと、いざと言う時にサポートを得られやすくなります。（認知症サポート医より）
- ✓ 現場では非薬物療法（寄り添いや関わり）しかできないので、BPSDの対応には日々悩んでいるような状況です。特に、「今後どのようにしたらいいか」という相談を、相手の先生にどのように相談したらいいのかと悩んでいます。このような会議を通してでも、先生方からアドバイスやご意見を頂けるような機会を頂けるとありがたく思います。
  - このような会を使って事例検討をすることも可能かと思えます。先にサマリーを用意して頂くと、ご出席の先生方からアドバイスを受けることもできるかと思えます。（認知症サポート医より）
  - 外来看護師やケースワーカーを通して相談をして頂くこともできるかと思えます。（認知症サポート医より）
- ✓ 病院を受診したくても本人の拒否があり連れて行けないという相談を受けることがあります。1ヶ所に行けないので、内科・精神科と複数の病院への受診は益々難しいというような現状もあります。
  - 受診が難しいケースについては、訪問看護を利用することも可能かと思えます。（認知症サポート医より）